

長根だより

令和8年7月15日

7月号

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

こんな色が増えました

瀬戸市立長根小学校長 三宅 勝之

4月に子どもたちへ、「カラフル」という合言葉を伝えました。「カラフル」とは、「自分の色を表現すること」、「周りの色を大切にすること」、そして、「いろいろな経験を通して新しい色を増やしていくこと」です。

1学期を振り返ると、子どもたちはたくさんの色を手に入れてきました。

入学して約4か月の1年生。学校生活に慣れ、ひらがなの学習などを通してどんどんできることを増やしてきました。「できることが増えた色」が1年生の色です。

野菜名人との交流や町たんけん、相撲教室を通して地域や新しい世界に触れた2年生。「地域とつながった色」を増やしました。

社会科や理科の学習が始まり、日東工業の出前授業などを通して学びの世界を広げた3年生。「新しい学びと出会った色」を増やしました。

浄水場やごみ処理施設の見学、水道・新聞の出前授業、地震体験などを通して本物から学んだ4年生。「本物に触れて学びが広がる色」を増やしました。

野外活動で仲間と協力し、自分の役割を果たしながら活動をやり遂げた5年生。「仲間との絆とやり切る色」を増やしました。

委員会活動や縦割り班活動、通学班などで学校を支えてきた6年生。「支える色」を増やしました。

こうして振り返ると、それぞれの学年で増えた色は違います。しかし、そのどれもが子どもたちの成長につながる大切な色です。1学期を通して増えたたくさんの色が集まり、長根小学校はますますカラフルになっています。もうすぐで始まる夏休み。夏休みにも、家庭や地域の中で新しい経験や出会いを重ね、さらにたくさんの色を増やしてくれることを願っています。

最後になりましたが、1学期間、本校の教育活動を支えていただいた保護者・地域の皆様に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちのカラフルな成長をともに支えていただきますよう、よろしく願いいたします。